



米国株 MARKET PICK UP



先週の米国株式市場—ダウ平均はついに2万ドルに到達—

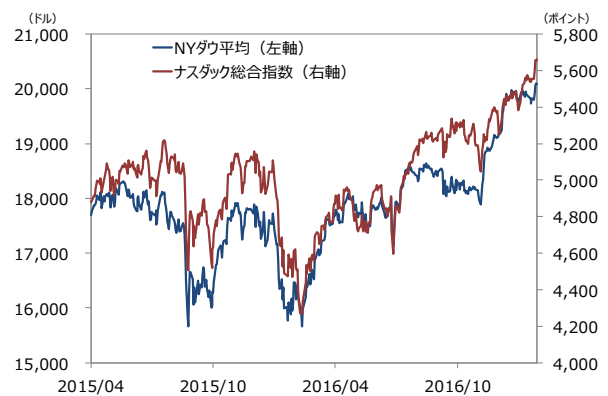
	前週終値	1月23日	1月24日	1月25日	1月26日	1月27日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	19,827.25	19,799.85	19,912.71	20,068.51	20,100.91	20,093.78	+266.53	+1.34%
騰落幅		-27.40	+85.46	+155.80	+32.40	-7.13		
S&P500	2,271.31	2,265.20	2,280.07	2,298.37	2,296.68	2,294.69	+23.38	+1.03%
騰落幅		-6.11	+8.76	+18.30	-1.69	-1.99		
ナスダック総合指数	5,555.33	5,552.94	5,600.96	5,656.34	5,655.18	5,660.78	+105.45	+1.90%
騰落幅		-2.39	+45.63	+55.38	-1.16	+5.61		

<先週の概況>

先週の米国市場は、好調な企業業績やトランプ大統領への期待を背景にダウ平均が週間で266ドル高と大きく上昇し初めて2万ドルの節目を突破しました。

S&P500 やナスダック総合指数も上昇しいずれも史上最高値を更新しています。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	16.8	3.4	2.5%
S&P500	17.7	3.0	2.1%
ナスダック総合指数	21.4	3.8	1.2%

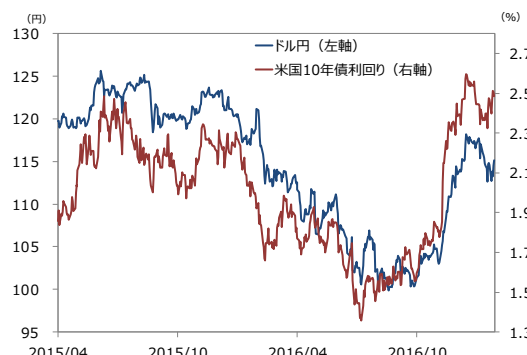
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2017年1月27日時点)

S&P500と騰落レシオの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

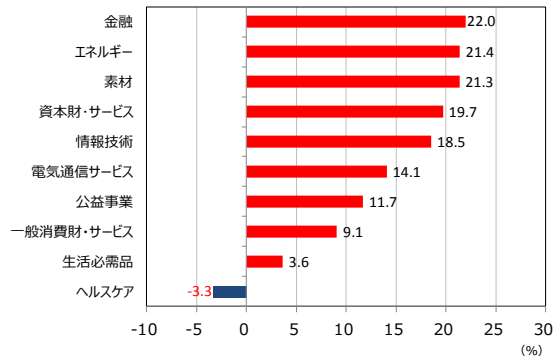
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

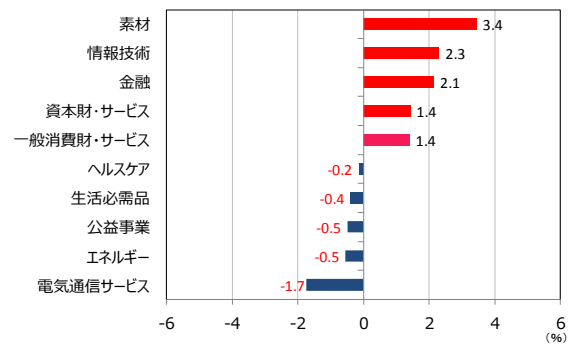
業種別リターン

S&P500 業種別昨年来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング (1/23-1/27)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
DD	イー・アイ・デュポン・ドゥ・ヌーヴル	6.4
BA	ボーイング	5.1
MSFT	マイクロソフト	4.8
CAT	キャタピラー	4.7
IBM	IBM	4.0
JPM	JPMorgan Chase & Co.	3.9
CSCO	シスコシステムズ	2.9
INTC	インテル	2.8
UNH	UnitedHealth Group	2.7
V	ビザ	2.4

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

値下がり率ランキング (1/23-1/27)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
VZ	ベライゾン・コミュニケーションズ	-5.9
WMT	ウォルマート・ストアーズ	-2.3
GE	ゼネラル・エレクトリック	-1.7
CVX	シエロン	-1.6
MRK	メルク	-1.2
PFE	ファイザー	-1.1
UTX	United Technologies	-1.0
PG	プロクター・アンド・ギャンブル	-0.8
JNJ	ジョンソン・エンド・ジョンソン	-0.7
MMM	3M	-0.6

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

<上昇>

ダウ平均を構成する 30 銘柄のうち 18 銘柄が上昇しました。デュポン (DD) は決算が市場予想を上回ったことが好感され 6%超の大幅高となりました。同じく決算が好調だったボーイング (BA) も 5%超上昇しました。

<下落>

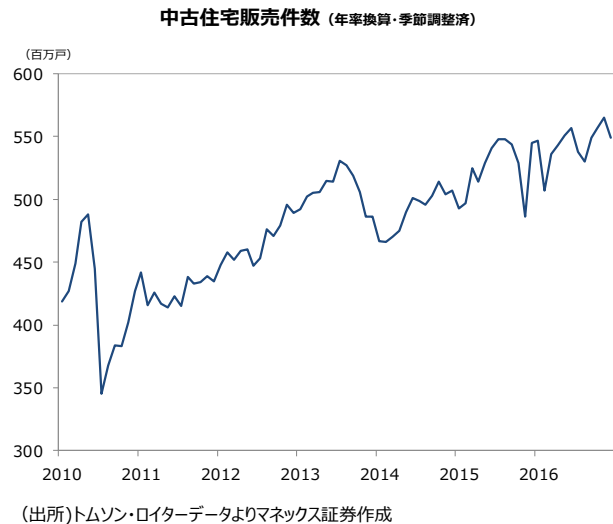
決算が市場予想を下回ったベライゾン・コミュニケーションズ (VZ) は 6%近い大幅安となりました。

先週発表された主な経済指標

中古住宅販売件数（年換算） 12月 549万件 市場予想 550万件 前月 561万件

24日に発表された中古住宅販売件数は年換算で549万件と市場予想の550万件をわずかに下回って前月から販売件数が減少しました。

ただ大きく販売が落ち込んだわけではなく、現時点で住宅市場に対して過度の悲観を持つ必要はなさそうです。



今後発表される主な経済指標

連邦公開市場委員会（FOMC）

1月31日から2月1日にかけて連邦公開市場委員会(FOMC)が開催されます。今回のFOMCでは金融政策は現状維持される見込みですが、今後の金融政策についてどのような方針が示唆されるか注目されます。

イエレンFRB議長をはじめとしたFRBの高官たちは、今年3回程度利上げを行うことを想定していると発言しています。早ければ3月のFOMCで追加利上げが行われる可能性もあり、それについて声明文にどのような文言が記されるかが最大の注目材料と言えそうです。

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会